

講義コード	11C0102200	授業形態	演習	事前登録の有無	なし	担当教員		開講期	
科目名	日本語2					洪沢 妃生子		第2期	
履修前条件						備考			
授業の目的	大学生として主体的に学ぶために不可欠な日本語技能とスタディ・スキルを養成することがこの科目のねらいである。なかでもこの科目では、テキストに取り上げられたテーマを中心に文法と読解力の向上を目指す。テキストの内容整理を通して、ノートの取り方について学習し、また、大学生にふさわしい中・上級文法、表現文型なども併せて学習する。								
到達目標	日本語の文法、文型、論理的な文章の構造に関する知識を持ち、それを文章作成に活用することができる。授業で得た知識・講義から得た情報を整理して、活用するスタディ・スキルを身につけることができる。								
授業外学修内容・ 授業外学修時間数	この科目では15時間以上の授業外学修を行うこと。各回の授業で扱う項目について、予習・復習を行うこと。授業中に指示した課題を期限内に行い、提出すること。								
授業計画	【第1回】 イントロダクション（前期の復習） 【第2回】 I 比較・対照① II 指示詞① 【第3回】 I 比較・対照② II 指示詞② 【第4回】 小テストとフィードバック 【第5回】 I 原因・結果① II 従属節① 【第6回】 I 原因・結果② II 従属節② 【第7回】 小テストとフィードバック 【第8回】 I 位置① II 従属節③ 【第9回】 I 位置② II 従属節④ 【第10回】 小テストとフィードバック 【第11回】 I 列挙・順序① II 接続表現① 【第12回】 I 列挙・順序② II 接続表現② 【第13回】 小テストとフィードバック 【第14回】 後期まとめテスト 【第15回】 まとめテストのフィードバック、質疑応答								
成績評価の方法	後期まとめテスト40%、小テスト30%、課題10%、授業への取り組み姿勢20%で評価する。								
フィードバックの内容	課題に対する講評を翌週授業内冒頭にて行う。また、提出された課題を添削し、授業期間内に返却する。								
教科書	『大学・大学院留学生の日本語①読解編』アカデミック・ジャパニーズ研究会（株式会社アルク）2009年、『その他、適宜プリントを配布する』								
指定図書									
参考書	適宜紹介する								
教員からのお知らせ									
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障のない範囲で教室内にて対応する。								
その他									